

第22回 抗議デモ・学習会

5月14日(土)

- 抗議デモ 午後1:30集合 1:50出発 烏山区民センター広場
- 学習会 午後2:30開会 烏山区民センターホール

講演 オウム真理教信者の裁判傍聴から見えること

地下鉄サリン事件を中心とした、オウム真理教信者 14 名の裁判は、元教祖麻原彰晃（本名松本智津夫）以下 12 名の刑が確定（11 名死刑・1 名無期懲役）し、残すは最高裁に上告中の 2 名のみとなった。

1995 年の裁判開始以来傍聴を続け、被告信者の法廷での証言や態度、心の揺らぎなど観察した内容を講演していただきます。

麻原彰晃は何をたくらんでいたのか。信者に課した修行は事件にどんな影響があったのか。被告信者たちはなぜ元教祖に従ったのか、それとも自らの意思なのか。私たちはそこから何を掴むのか。これからのオウム真理教との闘いにどんな示唆があるのか。

講師：元朝日新聞記者 **降幡賢一氏**



略歴

1945 年、長野県生まれ。
1969 年、朝日新聞社に入社。東京本社社会部員、企画報道室員などを経て、編集委員。
2005 年定年退職後も嘱託記者として昨年 1 月まで同社に在籍。
1995 年から、オウム真理教事件の裁判傍聴「オウム法廷」を朝日新聞に連載、現在も継続中。
著書に「オウム法廷」（朝日文庫全 13 編）、「オウム裁判と日本人」（平凡社新書）ほか。

主催：烏山地域オウム真理教（現アレフ）対策住民協議会

共催：世田谷区

**第5回リサイクルバザーへのご協力
ありがとうございました。**

**東日本大震災で被災された皆さまに、バザーの売上金の
一部を義援金として寄付させていただきました。**

一時は中止も検討された第5回リサイクルバザーは、地震・津波の被害に負けず
頑張っている被災地の皆さまを支援しようと開催することにいたしました。
皆様のご協力で実行できましたことをお礼申し上げます。

オウム
対策
住民
協議
会
ニ
ュ
ー
ス

烏山地域オウム
真理教（現アレフ）
対策住民協議会

監視小屋だより

オウム施設の監視活動は、39の団体（町会・自治会、小・中学校PTA、青少年地区委員会、商店会）の皆さんの協力を得て、年間のローテーションを組み、教団の活動を監視し日誌に記録しています。

<日誌より抜粋>

- ・大阪からアレフの荒木の両親がみえた。1時間程話をしていた様子だったが合わせてもらえなかったとの事。「ご迷惑をおかけします」と帰った。
- ・本日はGSに車の出入りが多く、何かの催し物があるのか(1/12)
- ・とても寒い日だったせいか、人の出入り及び部屋から部屋への移動が少なく感じた。
- ・公安の人にオウム信者と聞かなければわからない。改めて意識を住民達が持ち、監視していかなければと思いました。
- ・説法会があり(ひかりの輪)信者が来ていた。15:00頃終了した様です。上祐が来ていた。終わっても少人数で帰る。(1/23)
- ・ワゴン車1台、GSへ。運転手男性1名、他女性2名。寝具と思われるものを持参。建物より女性1名が迎える。
- ・SSから畳を2枚持ち出した男性2人、畳を車に積んでからまたSSに戻り、さらに2枚の畳を持ち出した。それを繰り返し合計10枚の畳を車に積んだ。畳には粗大ゴミのシールがはってあり、名前も書き込まれていた。(2/13)

- ・SSへ旧道方面から中年男性。引越トラックで205号室から荷物を運び出す。
- ・SSよりダンボールで保護した額のような物4枚、その他にダンボール箱多数、車に積み込んで甲州街道方面へ。
- ・白いワゴン車に男性2人が荷物を積み込む。引越らしくたくさんの荷物だ。
- ・通る方に挨拶され、ご苦労様と声をかけてくださる方もおり、寒い中での監視活動も苦にならなかった。
- ・ひかりの輪で何か話し合いがあったのか? 2階の部屋から、布団や、スーツケース等移動していた。
- ・SSより男(短髪、長身)が工具箱2個をライトバンに搬入した。15分程して同じ男が、ダンボール箱も積み込んで旧道へ出て行った。
- ・品川ナンバーの車、バイパス方面より男性が乗ってきた。SSから洗濯機と冷蔵庫3台を(とても古い)積み込み甲州街道方面へ。

烏山に居住するオウム真理教(アレフ・ひかりの輪)の信者の数はかなり減少しています。特にアレフに関しては足立区入谷に拠点となる様な建物を購入した事により、引越しと思われる荷物を運び出す様子がひんぱんに日誌に記入されています。オウム対策住民協議会はオウム真理教「解散・解体」を目指して活動を続けています。今後とも、地域住民の皆様のご協力・ご支援をよろしくお願い致します。

※GSはGSハイム、SSはサンサンマンション

パンフ「こんな勧誘にご用心」世田谷区内9大学に配布

3月8日、烏山地域オウム真理教対策住民協議会では、世田谷区内9大学にパンフレット「こんな勧誘にご用心」13,100部を届けました。

これは新入生にカルトの勧誘の手口を知ってもらうためのもので、住民協議会では平成16年より毎年、世田谷区内の大学の意向を聞きながら行っています。オウム真理教、統一教会、摂理などカルト教団は、近年、社会経験の未熟な大学生をターゲットに、言葉巧みに教団に誘い込み、その結果多くの被害が報告されています。住民協議会では、パンフレットを読んでもらい、カルトへの知識を持ち、被害が減少することを願っています。今年パンフレットを配布していただける大学は以下の通りです。

東京医療保健大学、国士舘大学、駒澤大学、昭和女子大学、多摩美術大学、日本女子体育大学、日本大学商学部、日本大学文理学部、東京都市大学(順不同)



住民協議会活動報告

3月16日(水)	実行委員会	4月4日(月)	協議会ニュース104号再校正
3月18日(金)	リサイクルバザー物品受付	4月6日(水)	事務局会議
3月25日(金)	リサイクルバザー物品受付	4月8日(金)	リサイクルバザー前日準備
3月28日(月)	協議会ニュース104号初校正	4月9日(土)	第5回リサイクルバザー・「観察処分」期間更新の署名活動
3月31日(木)	リサイクルバザー物品受付	4月11日(月)	協議会ニュース104号発行

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。